

附属小 研究だより

学びをたのしみ自律共創する子ども（2年次）
～対象・他者・自己との対話へと誘う学習環境をデザインする～



詳しくは裏面をご覧ください **研究発表会 申込み締め切り間近!!**

ご挨拶

師走を迎え何かと慌ただしい時期となりました。皆様方におかれましては、再びコロナ感染者が増加し、終息の見通せない中、感染症対策を講じながら、学校教育活動にご尽力いただいていることと拝察いたします。

さて、年が明けますと、いよいよ本校研究発表会の日が近づいてきます。

本校は昨年度から「学びをたのしみ自律共創する子ども」を研究主題として掲げ、日々の実践に取り組んで参りました。本年度はサブテーマに「対象・他者・自己との対話へと誘う学習環境をデザインする」を設定し、それぞれの教科等で成果と課題を明らかにし、子どもの姿を通して2年間の研究の取組の様子をご提案させていただきます。ぜひご覧ください。

本年度の研究発表会は、コロナ感染症対策を行った上で、人数を限定した参集型授業公開を3年ぶりに開催いたします。可能な限り対面での授業をご覧いただければありがたいです。

また、参集型授業公開に参加されない方は、事前に動画で授業の様子をご覧いただきたいと思います。

研究発表会はオンラインによる会になりますが、忌憚のないご意見・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

熊本大学教育学部附属小学校 校長 中野 浩幸

附属小オンライン研究発表会 ここがポイント！

POINT

① 学びの深まりが見える！

単元を通しての実践提案！

事前に本時の授業動画とともに、単元開きや前時までの授業ダイジェスト等を配信し、「単元を通しての実践提案」をいたします。

例①) 単元開き、本時まで、本時 例②) 本時まで、本時、次時以降 例③) 本時まで、本時、教材紹介

② 実践資料が盛りだくさん！

全12実践の資料が閲覧可能！

研究会当日に参加されない分科会の授業動画も全て閲覧可能です。また、指導案、資料等もダウンロードできますのでご活用ください。

③ 3年ぶりの参集型+オンライン！

選べる3つの参加形態！

1月25日（水）に参集型の公開授業を行います。人数の制限はありますが、3年ぶりに生で授業参観ができます。また、動画での授業配信も行いますので、それぞれのニーズにあった形でご参加ください。

期日 令和5年1月25日（水）… 授業公開（A 参集型）
2月11日（土）～17日（金）… 授業公開（B 授業動画）
2月18日（土）… オンライン研究発表会

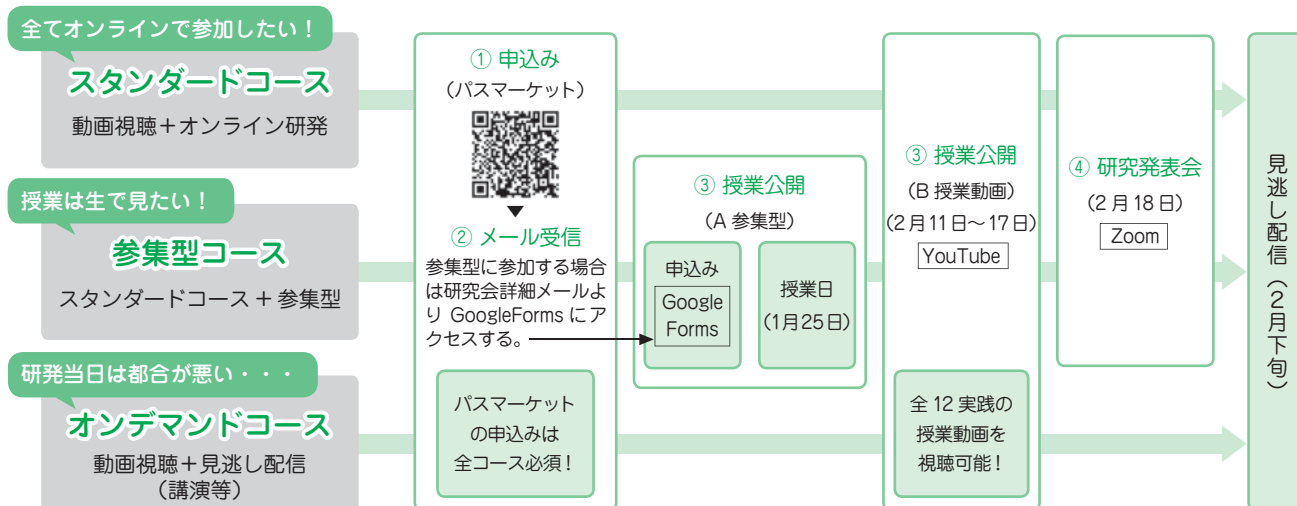


詳細は本校
ホームページへ

日程

	13:00	13:25	13:30		14:15	14:30		15:15
[1月25日]	受付	移動	公開授業Ⅰ	移動	公開授業Ⅱ			
	8:15	9:00		10:25	10:40		12:05	13:00
[2月18日]	受付	分科会Ⅰ	休憩	分科会Ⅱ	昼食	全体会	閉会	

研究会当日までの流れ



研究発表会の申込み締め切りは **2月10日(金)** です。

※2月10日を過ぎても申込みは可能ですが、研究会詳細のメールの送信が遅れる場合がございます。

熊本大学教育学部附属小学校 **研究だより** vol.61

ホームページ <https://elem.educ.kumamoto-u.ac.jp/> 熊大附属小 検索

発行日 令和4年12月21日

編集・発行 熊本大学教育学部附属小学校 〒860-0081 熊本市中央区京町本丁5-12 TEL 096 (356) 2492 FAX 096 (356) 2499



©2010熊本県くまモン

対象・他者・自己との対話へと誘う学習環境をデザインする

研究部長 溝上 剛道



学びをたのしみ自律共創する子ども。先生方はこの言葉からどのような子どもの姿を思い浮かべられるでしょうか。本校では昨年度よりこの主題のもと、「自ら問いを見いだし対象に働きかける姿」「他者と共に新たな意味や価値を創り出す姿」「その過程を自覚し、さらに対象に関わり続けていく姿」を追い求めて実践研究を進めてきました。特に今年度は「対象・他者・自己との対話へと誘う学習環境をデザインす

る」をサブテーマとして設定し、教室を「教え授けられる場」から「自ら学び取る場」へと変える授業づくりに取り組んでいます。キーワードは「しかけ」「場の調整」「足場づくり」です。

研究発表会では、ここで紹介している12本の公開授業を基に、今年度の実践を通して見えてきた「学習環境デザイン」の在り方を提案いたします。子どもたちが「対象世界に没頭するたのしさ」「仲間と共に創り出すたのしさ」「自分なりの意味や価値を見いだすたのしさ」を見いだし、自律共創する学びの姿をご覧ください。お待ちしております。

公開授業Ⅰ（分科会Ⅰ）

※（★は1月25日（水）に参集型で授業を行います。）

★算数科 第1学年「ドリームパークをつくろう」 問いや思いが連続したかたちづくりの授業を提案します！



「かたちづくり」の学習において、教師が定めた条件の下で、かたちをつくらせてしまうため、そこで得た気づきを次の活動へと生かせないことがあります。かたちをつかって遊ぶ「ドリームパーク」に取り組む中で、子どもたちの問いや思いが連続する授業を提案します。（東野 臣祐）

★音楽科 第3学年「チャレンジ！いろとりどりのリミックス」 「リミックス」で、お気に入りの曲を味わい直す授業



多くの音楽の中にある「反復」と「変化」。子どもたちは、音楽の仕組みだと理解していても、そのよさを生かす経験はなかなかありません。そこで、合唱曲にリズムパートを付ける「リミックス」を通して、曲の構成と関連付けながらよりよい表現を追求する授業を提案します。（上原 正士）

体育科 第6学年 「ロングベースボール」(ベースボール型) 意図をもってプレイするたのしさを味わえる授業



ベースボール型では、塁をめぐる攻防にたのしさがあります。しかし、連携した守備をしても、進塁を防げないことがあります。そこで、場の広さを工夫することによって、守備の連携だけでなく、攻撃の方法も試行錯誤し、たのしみながら学ぶことができる授業を提案します。（是住 直人）

★社会科 第6学年「二十歳の行動宣言」(国際協力) 社会科における「なすことによって学ぶ」姿を提案します！



国際協力の単元で、自分事にならないまま選択・判断させていませんか。そこで、自分が解決したい世界規模の課題について調べていく中で、国連や日本等の取組に気づき、それを参考にしながら、SDGsと関連付けて、自分たちにできる行動宣言を協働的に探究する姿を提案します。(村上 春樹)

★体育科 第2学年「スパイゲーム」(ゲーム) 動きや作戦を自ら捉え直していく姿をお見せします！



これまでのボールゲームで、強く投げるコツを追求してきた子どもたち。ただ中学年からは攻守入り乱れた状態でのボール操作が求められます。そこで、相手をつかしながら投げるのが面白い「スパイゲーム」に取り組む中で、動きや作戦を捉え直していく姿を生み出していきます。(磨田 慎太郎)

★道徳科 第2学年「おもしろいしゃになる」(A希望と勇氣,努力と強い意志) 「なりたい自分」を偉人の生き方から見つめ直す授業



2年生から6年生にある偉人教材を自分事にする難しさはありませんか？偉人の生き方に「なりたい自分」を重ねて考え、今までの自分の生き方を見つめ直す子どもの姿を目指します。その中で、道徳的価値を多面的・多角的に捉え、なりたい自分をさらに追求する授業を提案します。（山平 恵太）

公開授業Ⅱ（分科会Ⅱ）

※（★は1月25日（水）に参集型で授業を行います。）

★国語科 第1学年「ずうっと、ずっと、大好きだよ」 「ぼく」になりきる劇を通して体験と結び付けた読みへと誘う



「考えの形成」でよく見られる物語の好きな所紹介。取り組みやすい反面、「精査・解釈」と往還しづらいという課題があります。そこで「ぼく」になりきる「エルフとの思い出劇」に取り組み、人物の行動と自分の体験を結び付け、具体的な想像を基に考えを形成する姿をお見せします。(木下 忠志)

音楽科 第4学年 「つくろう！トガトンミュージック」 「おもしろい音楽」は、どうすればできる？



菓子の空筒による五音音階の手作り打楽器「トガトン」。子どもたちがこの楽器と出会い、友達と一緒に演奏する楽しさを味わいながらグループでの音楽づくりに取り組みます。「弾いて、聴いて、見ておもしろい音楽」を目指して、試行錯誤しながら音楽を形にしてい授業を提案します。(中島 千晴)

★外国語科 第5学年「熊本のおすすめスポットを紹介しよう」 相手の思いに配慮した英語によるやりとりを追求していきます



熊本の魅力が詰まった旅行プランを英語のやりとりで模索していく中で、意思を伝えたり、相手に提案したりする言語表現について考えていきます。友達の「～したい」に応えるために、相手のことを十分に知る必要性に気づき、相手の思いに配慮した英語によるやりとりを追求してい授業を提案します。(北森 麻衣子)

★生活科 第1学年「みんなでさくろう！かみくまもとえきのひみつ」 低学年らしい思考や認識を育む「表現活動」の工夫



低学年らしい思考や認識を育むために大切なことは何でしょうか？そのカギを握るのは、「表現活動」です。表現活動で気づきを再構成し、バスや市電、JRなどが集まる上熊本駅の働きだけでなく、公共交通機関を支える人々の存在を捉え、気づきの質が高まっていく姿をご覧ください。(坂口 静磨)

★体育科 第4学年「ドライブボール」(ネット型ゲーム) チームで得点するために「自分」ができることは



ネット型ゲームでは繋ぐことが目的化し、ネット型本来のたのしさを味わえないことがあります。そこでスペースを見つけ打ち込む爽快感を味わえるゲームを設定し、得点に向けた動きを試行錯誤する姿を生み出すことで、連携の中で自分にできることを見いだしてい授業を提案します。(西 沙織)

★特別活動(食育) 第6学年「ぼく/わたしのオリジナルお弁当プロジェクト」 お弁当づくりから、将来の食生活を考える授業



1食の献立づくりと調理から、食事の内容とバランスにも目を向け始めた子どもたち。友達や家族とかかわりながら、お弁当をよりよくする工夫を見いだし「好き」と「主食・主菜・副菜のバランス」の両立を目指した「ぼく/わたしのオリジナルお弁当」を試行錯誤する姿をご覧ください。(是住 直人・松尾 夕貴)

講師

講演「学びの自己調整と授業づくり」

香川大学 准教授 岡田 涼 先生

著書

『自ら学び考える子どもを育てる教育の方法と技術』（北大路書房）

『子どもと大人の主体的・自律的な学びを支える実践』（福村出版）

『友だちとのかかわりを促すモチベーション』（北大路書房）

